

第5期東京都高齢者保健福祉計画に係る進行管理表（平成24年度）

第7章 多様な社会参加の促進
第3節 福祉のまちづくりの推進

(単位：百万円)

事業	事業概要	当初 予算額	決算額	実績（アウトプット）
福祉のまちづくりの普及推進	高齢者、障害者を含めた全ての人々が安全、安心、快適に暮らし、訪れることができるまちづくりを実現するため、東京都福祉のまちづくり推進協議会などの会議運営やパンフレットの作成、バリアフリーに関する情報提供などを行います。	16	11	○ 東京都福祉のまちづくり推進協議会 開催回数 1回 ○ 東京都福祉のまちづくり推進協議会専門部会 開催回数 5回 ○ 東京都福祉のまちづくり事業者団体等連絡協議会 開催回数 1回 ○ 福祉のまちづくり功労者知事表彰 贈呈件数 5件 ○ 区市町村事務処理特例交付金 届出 1,078件、適合証 26件 (24年度)
ユニバーサルデザイン福祉のまちづくり事業	駅周辺、商店街等の特定の地区において、ユニバーサルデザインの視点に立った先駆的な福祉のまちづくりに取り組む区市町村を支援します。	364	277	○ 22年度からの継続2地区 ○ 23年度からの継続3地区 (24年度)
とうきょうトイレ整備事業	駅周辺、商店街等の特定の地区において、トイレ整備に取り組む区市町村を支援します。			○ 4地区 (24年度)
道路や公園等の都市施設における福祉のまちづくりの推進 (都市整備局、建設局)	道路事業・河川事業・公園事業・市街地開発事業などによる都市施設の整備において、誰もが安全で快適な移動ができる、住みやすいまちづくりの実現に配慮します。	72,479	48,503	地区数 ○ 4地区 (都施行市街地再開発事業) ○ 9地区 (都施行区画整理事業)
		15,479	13,650	○ 都道のバリアフリー化 (24年度) 整備延長 16km ○ 無電柱化の推進 センターコアエリア内 (24年度) 整備延長 17km 多摩地域・周辺区部 (24年度) 整備延長 15km
コミュニティバスの導入 (地域福祉推進区市町村包括補助事業)	区市町村が交通空白地域にコミュニティバスを導入する場合に、調査・検討経費、車両購入費、当初3年間の運行導入費を支援します。	— (注)	— (注)	○ 8件 (24年度)
だれにも乗り降りしやすいバス整備事業	高齢者等を初め、誰でも乗り降りしやすいノンステップバスの整備を進めるため、民間バス事業者が行う車両の購入を支援します。	170	50	○ 60両 (24年度)
鉄道駅エレベーター等整備事業	公共交通機関における円滑な移動を図るため、鉄道駅におけるエレベーター等の整備を支援します。	163	80	○ 5駅 (24年度)
バリアフリー新法に基づく区市町村の基本構想作成に関わる支援業務 (都市整備局)	旅客施設及び周辺地区のバリアフリー化を進めるため、バリアフリー新法に基づく区市町村の基本構想作成に対する支援を行います。	3	3	○ 3区市 (24年度)
宿泊施設のバリアフリー化支援事業 (産業労働局)	高齢者、障害者等が、観光やビジネスのために都内宿泊施設を安全かつ円滑に利用できるよう、バリアフリー化を推進します。	96	50	○ 補助件数 15件 ○ セミナー及び相談会 2件 (24年度)
東京ひとり歩きサイン計画 (産業労働局)	外国人旅行者や障害者、高齢者を含めた全ての人々が安心して東京の観光を楽しめるように、ピクトグラム (絵文字) や多言語で表記した観光案内標識を設置します。	198	116	○ 整備実績 41基 (24年度)
わかりやすい案内サインの改良 (交通局)	高齢者、障害者を含めた全ての人々が都営地下鉄を円滑に利用できるよう、駅全体の案内サインを東京メトロと統一したデザインに改良します。	128	90	○ 20駅改良 累計：83駅/101駅 整備率：82.2%

(注) 区市町村包括補助事業は、区市町村が複数のメニューの中から選択して実施する事業であり、それぞれの事業の予算・決算については公表していない。